

松阪市市長と同市の松浦武四郎記念館館長による特別講義を実施しました

令和元年11月に本学と連携協定を結んだ三重県松阪市から、竹上真人市長と、松浦武四郎記念館の山本命館長が来学し、本学学生のために特別講義を行いました。

竹上市長からは松阪市の成り立ちや魅力、山本館長からは松浦武四郎の人となりや業績、アイヌ民族との交流について解説していただきました。また、学生からの要望で学芸員の仕事の魅力についてもお話いただきました。講義に参加した学生は6度も北海道を歩いて訪れた松浦武四郎のバイタリティーや緻密で膨大な記録に驚いていました。

本学と松阪市は、地域の歴史や文化を尊重し、それらを継承する人材を育ててゆくためにこれからも連携し、地域に貢献してまいります。

講義日時 令和4年7月19日(火) 13:00～14:30
会場 8203教室 SUcole 2階
講義タイトル 「松浦武四郎とふるさと松阪」



▲ 三重県松阪市 竹上真人市長



▲ 松浦武四郎記念館 山本命館長

TOPICS

学生の活躍

単位互換制度で鹿児島国際大学経済学部経済学科へ「国内留学」中の金田尚輝さん(経済学専攻・3年)からメッセージが届きました。

金田尚輝さんメッセージ

実家は農業を営んでいますが、大学に入学した頃はその道に進もうとは思っていませんでした。しかし、自炊したり実家から送られてきた野菜の美味しさに気づいたりしたことから、農業への関心が高まり、自然とその道を目指すようになりました。

火山があり温暖な気候が特徴的な鹿児島の地域性に魅了され、単位互換制度を利用し、こちらで一年間学ぶことにしました。さらに、畜産や園芸に関わることができる環境に身を置けることとなり、毎日とても充実しています。もともと縁もゆかりもなかった地域ですが、今では多くの人とつながり、自分が目指す農業の形も見えてきました。

新しい価値観を得るきっかけとなった「国内留学」に感謝しています。将来的には、畜産と園芸をつなげ、良い土づくり、さらには有機農業などに挑戦したいと考えています。



▲ 国内留学中の金田さん

■ 本学の「単位互換制度」について

沖縄大学・京都精華大学・立正大学・和光大学・育英館大学・鹿児島国際大学・大東文化大学の7校が本学の単位互換協定校となっています。希望する学生はこの制度を使い、これらの大学で一定期間学ぶことができる、いわゆる「国内留学」が可能です。